24年度第7回代表者会議(88th)　議事録

日　時:平成25年1月29日(火)　18:30～20:40
場　所:テクノプラザかつしか　第2会議室
代表者会議構成者:
①黒﨑正典（会長/総括/代表者会議議長）
②吉村勝博(副会長/イベント委員長/情報交換分科会代表)
③菅谷俊紀（副会長/会員プレゼンテーション委員長）
④中村博司（副会長/研修）
⑤石原祐治（副会長/協力事業推進室副室長）
⑥金澤建治（会計チーフ）
⑦宮本武夫（総務広報委員長）
⑧池谷伸夫（研修委員長）
⑨髙田照和（産学連携委員長）
⑩元井良郎（IT分科会代表）
⑪中村憲昭（エコ・ライフ研究分科会代表）
⑫猪瀬昇一（K＆T分科会代表）
⑬宮澤邦幸（分科会かつコレ代表/OSC開発代表）
⑭倉島　進（寅さん分科会代表）
以上　三役(会長・副会長・会計)と各分科会代表者と運営委員長で構成される 14名（敬称略／順不同）
当日出席依頼者:
⑮**講評:**飯吉修一呂氏
出 席 者:黒﨑正典、吉村勝博、菅谷俊紀、石原祐治（～18:45）、金澤建治、宮本武夫、池谷伸夫、中村憲昭、宮澤邦幸（18:45～）、倉島進、飯吉修一呂　以上11名（敬称略／順不同）
対外事務局:葛飾区商工振興課　中村友美
欠 席 者:中村博司、髙田照和、元井良郎、猪瀬昇一
議　長:会長　黒﨑正典
司　会・議事録署名人:副会長　菅谷俊紀
書　記:東商葛飾支部　鈴木康修

交流会目的
全員で交流会目的を菅谷副会長の音頭で唱和した。
(1) 異業種交流会相互の理解を深め、技術の交流、経営情報の交換を通じて会員の資質の向上を図る。
(2) 企業経営全般にわたる視野の拡大と発想の転換をはかる。
(3) 新規事業、新製品開発の素地を醸成する。

1.　会長(議長)挨拶
皆様こんばんは。お忙しい中ありがとうございます。今年第一回目の会議で、我々役員もこの3月で任期満了となります。新しい体制に向けてこの会議の前でも三役会議を開き、新しい体制について色々と話を行いました。この会議の中でも新体制については改めてお話させていただきたいと思います。それから、お手元に葛飾ブランド「葛飾町工場物語」ができたとのことで、既にご報告のとおり異業種交流会開発製品「雨水タンク」が認定されましたのでP106から掲載されています。これで、異業種交流会の製品も葛飾のブランド製品に認定されたとのことで素晴らしいことと思います。それでは本日もよろしくお願いします。

2.　議事録署名人の指名
議事録署名人として、司会の菅谷氏が指名された。

3.　前回決定事項及び連絡事項の確認（司会）

4.　対外事務局より連絡（商工振興課　中村友美、東京商工会議所　鈴木康修）
・配布資料の確認及び東京商工会議所会員交流ボウリング大会のご案内。（東商・鈴木）

5.　運営委員会から24年度事業進捗報告及び連絡について
(1)　協力事業推進室（石原副室長）
配布資料に基づき、石原副室長より説明が行われた。
(2)　総務・広報委員会（宮本委員長）
配布資料に基づき宮本委員長から報告が行われた。
◆　分科会の議事録について、OSC分科会の議事録の提出をお願いします。（宮本委員長）
◆　総会に向けて、事業報告と予定表を出してもらっているのですが、2月末くらいにはいただきたいと思います。会計も2月末で〆られれば〆ていただき、私まで提出をお願いします。（宮本委員長）
→定例会が3月にあるので、それが終わらないと出せないのですが。（倉島代表）
→それでは終わったら早急に提出をお願いします。（宮本委員長）
◆　総務広報委員会で、HP更新の操作説明会について、2月の中旬までに開催したいと思います。（宮本委員長）
◆　メーリングリストについては、新しく作りましたが現在未だ周知を行っておりません。会員メーリングについては会員全員の登録を行いました。投稿については、総務広報委員長のみ可能としておりますが、会長も投稿できるようにしたほうがいいですか？（宮本委員長）
→そうですね。いつから切り替えになりますか？（黒﨑会長）
→切り替え時期は未定です。登録内容の確認をしながら、徐々に進めたいと思います。3月1日頃から運用開始したいと思います。（宮本委員長）
→これに加え、「連絡網用のメーリングリスト」を作った方がいいのではないでしょうか？各分科会の構成員と連絡網が異なっているため、参加者の掌握等が混乱してしまっているためです。（池谷委員長）
→メーリングリストについては、多いものを選択したのですが全部で20個しか登録ができません。例えば、IT分科会は構成員全員が連絡網になっているので、その部分も考慮に入れてもう一度検討してみます。（宮本委員長）
◆　切り替え時、過去のメーリングリストでのやり取りは参照できるのでしょうか？（中村代表）
→過去の分は読むことができません。しばらくは過去のメーリングリストも残しておこうと思います。（宮本委員長）
◆　HPの更新担当者は誰になりますか？（黒﨑会長）
→宮本、石原、三浦、小田の4名です。担当も決めています。（宮本委員長）
→最近HPが更新されていないように見えるが。（黒﨑会長）
→2月中旬に、講習会を開いてから更新できるようになります。（宮本委員長）
(3)　研修委員会（池谷委員長）
配布資料に基づき池谷委員長より説明が行われた。
◆　賀詞交歓会の収支報告について、ご承認をお願いします。（池谷委員長）
→来賓として、東商事務局長の柳本さんが2回でているのですが？（飯吉氏）

→途中から柳本さんが出席し、参加費を徴収したため計上しております。（池谷委員長）
→分かりました。（飯吉氏）
⇒全会一致で承認された。

◆ 賀詞交歓会について、感想等お伺いできればと思います。（池谷委員長）
→総じてよかったのではないかと思います。（飯吉氏）
→会場の使用時間について、設営を行うのであれば午後の時間も取っていただけたらと思います。（池谷委員長）

(4) 会員プレゼン委員会（菅谷委員長）

配布資料に基づき菅谷委員長より説明が行われた。

◆ 12月の会員懇親会の収支報告について、ご承認をお願いします。（菅谷委員長）
⇒全会一致で承認された。

◆ 2月26日の会員プレゼンについて、今回も1部・2部で開催したいと思います。プレゼンについては3社ほど予定しております。（菅谷委員長）

◆ 会員プレゼンは、皆さんの中で負担にはなっていませんか？あまりに事業が多いと、負担になるのではないでしょうか？（黒﨑会長）
→会員プレゼン委員会として、参加者の負担は特にはないと思います。但し、分科会代表者は、毎月の定例会議や出欠の取りまとめ等非常に負担になるのではないでしょうか？（中村代表）
→でも、誰かが取りまとめを行わないといけないのではないでしょうか？（飯吉氏）
→現在も、発信者が取りまとめを行うのですが、「念のため分科会代表で確認してください」というのが多い。事前連絡がなければ欠席扱いにしたり、出席連絡をしたのに参加しない人からは料金を徴収したりと、しっかりとしていかないとならないのではないでしょうか。（中村代表）
→受発注情報交換会は、担当の委員会で出欠確認を取っています。そんなやり方もあるということをご連絡します。（黒﨑会長）

(5) イベント委員会（吉村委員長）

◆ 昨年、来場者アンケートにて「会員企業の品物をもっとみたい」というアンケートがありました。しかし出展企業が少ないため、急きょ直接アプローチをすることとなりました。（吉村委員長）

◆ 出展いただける方にパネルを作成したいと思います。パネルの原稿を依頼したいと思いますが、全社集まらないことも考えられるためその際には、当日まっさらなパネルを準備し、その場で記載してもらうことを考えています。（吉村委員長）

◆ ポスターについては、皆様で分担して配布をよろしくお願いいたします。（吉村委員長）
⇒JR亀有・金町・綾瀬・京成金町については吉村氏、新小岩については宮本氏、京成小岩については金澤氏、柴又・新柴又については池谷氏、高砂・青戸については宮澤氏、お花茶屋・堀切・立石・四つ木については石原氏に依頼することとなった。
→お願いしたいのが、2月20日以降、駅に設置をお願いします。3月3日以降、残っていれば回収をお願いします。（吉村委員長）
→昨年、柴又ではそっくりと残っていました。一番前にすると、他のチラシから隠れてしまうので、背の高いものを準備してもらいたいです。（池谷委員長）
→他のチラシが白黒なのに対し、カラーにしているため目立つという意見もあるのですが。（吉村委員長）

◆ 1月30日に委員会を開き、そこで決定します。ご了承いただければと思います。また、JAさんの出展に関しては、JA側でリブレ京成に野菜を出していることを懸念していたようですが、リブレ京成からは「葛飾区の発展に寄与するものであれば問題ない」と快諾をいただき、今回の出展になったとのことです。（吉村委員長）

◆ 色合いがいい、素晴らしいパンフレットだと思います。体験できるイベントとして、何かありますか？産業フェアでの防災シェルター等、おもしろかったので。（黒﨑会長）
→言えば展示してくれると思います。（吉村委員長）
→今回、パネル展示は行うのですか？（菅谷委員長）
→昨年と同じようなパネル展示は行いません。今回は、先ほど説明した商品につけるパネルを準備したいと思います。（吉村委員長）
→ノベルティとして、コースターを出してもいいと回答しておりますが…（菅谷委員長）
→今回は、鉛筆をノベルティとして1,000本出します。コースターの即売という形で販売することも可能です。（吉村委員長）

(6) 産学連携委員会

黒﨑会長より説明が行われた。

◆ 近日中に、葛飾総合高校との打ち合わせ会を行う予定とのことです。（黒崎会長）

◆ 葛飾総合高校の吹奏楽部が、第6回定期演奏会を3月29日に江戸川区で開催されるそうです。この吹奏楽部がかなり好評で年間50か所ほど回っているようです。入場は無料ですが、事前連絡のうえチケットをもらってほしいとのことです。前もってご連絡します。（黒崎会長）
→入手方法についても合わせて教えてください。（池谷委員長）

7. 次年度運営について（黒崎会長）

◆ 平成25年度について、新しい会長をニューロング工業・長さんに依頼し、内諾をいただいております。ただ、その際になるべく皆さんの役務を軽くして運営できる仕組みで行いたいという話がありました。その中で、案として考えましたが、例えば代表者会議を隔月開催することや、各行事の担当者を複数名決め、その方に実行してもらうこと。現在は委員会制度を用いて行っておりますが、これからは行事毎に担当を配置し運営を遂行していくことになります。そうすると運営側としてかなり負担が少なくなるのではないかと思います。それから、産業フェア、受発注については引き続き力を入れていき、また花火等は希望者による有志の運営で行いたいと思います。イメージとしては会の内容が縮小するようなイメージかもしれませんが、皆さんが動きやすくするために、行事を少なくすることもいいのではと思います。代表者会議が少なくなると決議するタイミングが減ってしまいますが、各行事担当者でメーリングリストを活用しながら、決議を行っていく方法もあるかと思います。会議数、行事数が多いとどうしても負担になってしまいますので、会議が少なくなれば新鮮味をもって参加いただける面もあるかと思います。出欠確認についても、分科会代表による確

認をやめて、行事担当者が出欠確認を行ってもいいのではと思います。対外会議についても副会長等とも分担しながら進めることで負担も減ると思います。運営を円滑に行うために、今の皆様には引き続きやっていただくことを前提に、最終的には新会長が体制・人事を決めるかと思いますが、バトンタッチの段階ではそのような形にさせていただきたいと思います。分科会代表の交代等については速やかに連絡をいただければと思います。産業フェアに関しても、とりあえずは石原さんに引き続きお願いしたいと思います。今までも、委員長が率先して対応していた現状があるかと思いだいぶ負担になっていたかと思いますが、行事ごとの担当になることで、だいぶ負担は減ると思います。そういった面で、負担を少なくした形で新会長へバトンタッチができるのではないかと思います。行事担当者については重複しないように選定をしたいと思います。また、例えば港区等は、事務局が専属にいて、区を定年退職したような方が事務仕事を担当しているようなのですが、そんなやり方もあるのではないかと思います。また、分科会も、毎月開催しなくてもいいのではないかと思います。そうすれば、負担も減り、効率よくメーリングリストを活用しながら運営していけるのではないかと思います。（黒﨑会長）

→議決機関が半分になると、今までのスピード感が半分になってしまう懸念がある。代表者会議では、決を採るだけの段階まで仕上げる等、会議の方向自体を変えていかないといけないという意味合いでよろしいでしょうか？（宮澤代表）

→ウェブ会議等のやり方もあるので、進め方も考えていかないといけない。（黒﨑会長）

→基本的に、代表者会議の開催月を行事がある月に合わせて開催をすることとして組んでいます。なので、うまく活用していただき、円滑に進めてもらえたらと思います。（吉村委員長）

◆ ゴルフ懇親会については、春ではなく秋、それも9月に開催するのがいいのではないでしょうか？産業フェア等もあるので、10月は避けたほうがいいと思います。また、5月開催であれば前年度から準備をしなければならず、できれば9月開催のほうが進めやすいと思います。（池谷委員長）

◆ 行事を減らす、ということについてはいかがでしょうか？（黒﨑委員長）

→日帰り研修については、「あまり魅力がない」「格安感がない」という話が多かったため、やり方によってはもっと活性化する可能性があるのではないかと思います。（池谷委員長）

→三役会議では「会として運営する以上、出席者が著しく少ない事業は避けるべき」という話があったので、日帰り研修会については回数等考えました。（吉村委員長）

→当然だと思いますが、自分が担当していてそのように感じたので、意見として述べさせていただきました。（池谷）

→行事については、入会動機になりえているものになればよいと思いますが、参加者数が少ないのであれば、入会動機との乖離が考えられますが、お考えとしてはいかがですか？参加している企業の工場見学等もいいと思うし、ニーズとマッチした企画ができれば、会の活性化につながると思います。（宮澤代表）

→そういう面では、入会時のオリエンテーションをしっかり行う等の仕組みが必要と思います。（黒﨑会長）

→入会者に、ヒアリングを行う等してニーズをくみ取ることが自然にできるよう、仕組みを整えることでミスマッチが避けられるのではないでしょうか？（宮澤代表）

◆ いいと思います。要は、全体の会議に出席しない人を何とかしたいという思いはみな同じだと思いますので、皆さんを巻き込んで一緒にやっていけたらいいと思います。（倉島代表）

◆ なんといっても組織が54名いる状態であり、その連絡となると分科会を活用して連絡しないとなかなかうまくいかないと思います。商工会議所でもブロックを9つに分けて、連携を密に行っています。そういう面でも、分科会のやり方は非常にいいシステムだと個人的には思います。しかし、分科会の代表が負担を感じているのであれば、大変なことだと思います。そういう面で、うまく機能するようにやっていかないともったいないと思います。かつては2つのグループで運営していたのが、3つになり、1つにまとまった経緯にあります。そういった面でも、やはりひとつには分科会を活性化していかないと難しい面もあるのではないかと思います。現状は大変だと思いますが、そこを何とか、負担を軽くしていくような工夫は必要かもしれません。ITの活用もひとつの方法だと思います。そういう時代になってきているので、それに順応していかないといけないと思います。自分のためにもなるかと思うので、工夫が大事だと思います。皆さんが築いた組織であるため、工夫しながら進めてもらえたらと思います。（飯吉氏）

◆ 連絡についてはなるべくPCを使って行えるようにしてほしいと思います。連絡を行う上で、一番負担になるのはなかなか出欠連絡がこないこと。メールを活用してほしい。（中村代表）

→そういう方には、IT分科会等を活用してもらえればと思います。ただ、メールはひとつの道具であり、コミュニケーションツールの一つ。全てを頼ってしまうといいことにはならない。（飯吉氏）

◆ 交流会からの補助金として、ゴルフや研修、忘年会、賀詞交歓会等に支出されていますが、飲み代に関することは控え、委員会に予算を回したらいいのではないかと思います。分科会では予算をもっていますが、委員会ではもっておらず、会場を借りるのも団体連絡室以外であれば費用がかかってしまいます。飲み代については、お酒を飲むのは自腹で行うのが基本ではないかと思います。その中からわずかでも委員会に予算分配できたらよりやりやすいのではないかと思います。（中村代表）

→交差点等の編集会議も、喫茶店でやっていますが、その経費については出ています。（池谷委員長）

→かかる経費であれば、請求することはできます。（吉村委員長）

→知っていればいいのですが、知らなければ悩んでしまうのではないでしょうか。（中村代表）

◆ 会員プレゼン委員会で、忘年会を行うのに下見を行うために行ったりすることもあるかと思いますが、そちらに予算を割いてもいいと思います。全員分は必要ないと思いますが、例えば1名分等、会から負担することも考えるべきではないでしょうか？（中村代表）

→それについては、一人頭の会費に反映したほうがい

いのではないでしょうか？（吉村委員長）
→少なくとも、自腹はやめてほしいと思います。（中村代表）

◆ 会の規約の中に「複数の分科会にまたがることを規制する」ことと「会の中で使用したものは、自費であろうが休会・退会時に会に返還する」という二点を予め盛り込んだほうがいいと思います。（池谷委員長）
→元井さんの話が出たので話させてもらいますが、HPを作成したのは彼が最初ですが会として何か対価を払ったのですか？（飯吉氏）
→会からは運用料等をお支払いしています。（黒﨑会長）
→彼は自己負担していた部分もあるのではないでしょうか？そのギャップを埋めないと、彼ももったいない。せっかく皆フォローしているのに、今のままではまずい。結局撤回できないの？（飯吉氏）
→元井さんから回答がなければ除名するという決議を、11月に行いました。ただ、それだけでは功績やHPを作ったご苦労もあったかと思いますので…（黒﨑会長）
→その件に関し、誰も直接会える環境にない。直接会えれば説得等もできるんだけれども・・・（飯吉氏）
→できれば除名ではなく、退会ということにできるよう、今お願いをしているところです。（黒﨑会長）
→何か円満にできるような、うまい方法はないのでしょうか（飯吉氏）
→自宅まで訪問しましたが、なかなか・・・（黒﨑会長）
→どうしてかたくなにドメインを保持するのでしょうか？もうもっている意味もないと思うのですが…（飯吉氏）
→高嶋さんのところが、パソコンの一部メンテナンスを行っているとのことです。（黒﨑会長）
→高嶋さんから私のところにも連絡があり、高嶋さんには元井さんから連絡があったらすぐに自分にも連絡するようにお願いをした。そういうすれ違いがITの欠点。面と向かって会えば分かる話だと思うのですが、そういう環境がはずされてしまうのがITの欠点。（飯吉氏）
→そこの部分については、会長が手紙を書いたり会いに行ったりしたにも関わらずお会いできないので、もう仕方がない部分もあるのではないでしょか？単純に除名するのは考えものかもしれませんが…（中村代表）
→ただ、彼が異業種のために長年一生懸命やっていたのは間違いない話。それを、いきなり除名というのは、我々も付き合いが長いから、簡単には認められない。（飯吉氏）
→私としても、こういう場で一言自分の意見を言ってもらえたらいいのではと思う。それがあれば「そうだったのか」と思い、歩み寄りもできると思うのに。（中村代表）
→それができないから問題。（飯吉氏）
→これがズルズルと引きずられてしまうのは、組織としても大変な問題だと思います。（中村代表）
→組織としては、決断をしなければならないと思います。（飯吉氏）
→私は、退会届を出してもらえるのを待ちたいと思います。（黒﨑会長）
→退会届の依頼メールは出してないですよね？（宮本委員長）
→元井さんに出しています。それでも現在のところ連絡が来ていない状況です。（黒﨑会長）
→会長の判断でいいと思いますが、ただ禍根を残したくないので。それだけです。（飯吉氏）

◆ 分科会を複数登録している人については、腰かけ的になっている人もいるかと思いますので、2月の分科会で実情を確認してほしいと思います。複数登録している人は、どこかに統一する等図ってほしいと思います。（黒﨑会長）
→でも、そういう人は各所属分科会に出席しているのでは？（飯吉氏）
→将来的に悪用するような人が出た場合（例えば情報収集を目的に活動する人等）のために、予め事前規制を行う必要があるのではないかと思います。守秘義務についてもしっかりとしておいた方がいいと思います。何にもないときに規制は作ったほうがいいと思います。（池谷委員長）
→それでは、分科会の代表者から確認結果の報告をお願いいたします。（黒﨑会長）
→それは実情確認ということですか？（吉村委員長）
→そうです。（黒﨑会長）
→いるメンバーについて、複数入っている人に、出席しているかどうかを確認すればよい、ということ？（倉島代表）
→名前だけ登録しているような人について、所属する分科会を決めてほしい、ということです。（黒﨑会長）
→出席していれば問題ないということでいいですか？欠席がちな人について、どうするのか出席して活動するのか確認すればよいということ？（倉島代表）
→そうです。（黒﨑会長）
→林さんの時には、全ての分科会にまんべんなく参加されていましたけれども、意思確認とは相反するのではないでしょうか？（宮澤代表）
→現状の方は自由でも構わないと思うのですが、新しく入る方は規制をかけていったほうがいいのではないでしょうか？2～3つの分科会の所属に制限するほうがいいと思います。例えばオブザーバーで参加する方についても、複数回オブザーバーとして参加したら自動的に分科会に所属するものとし、どこかほかの分科会を辞める、という運用方法もあるのではないでしょうか。（池谷委員長）
→会員さんに、どこに所属するのかはっきりと決めることが大事ではないでしょうか。複数登録することを止めるものではないですが、実際問題として出欠確認等で各分科会の代表者が苦労しているのが現状。精査を行うことにより、代表者の負担も軽減されるのではないかと思います。そういったことがないということであれば問題ないと思いますが。（黒﨑会長）

8. 分科会活動報告お呼び次月活動予定について

【寅さん分科会】倉島代表

◆ H23.6に福井県の東尋坊がある坂井市へ行ってきましたが、そこの商工会から下町工場見学を行いたいという問い合わせがありました。2月～3月頃に行う予定であり、会長と相談し受けるべきという話があり、金子さんから返事を行いました。ついては、主催については交流会として運営していくことでご了解をいただきたいという点と皆さんの会社で見学場所をお願いすることもあるかもしれないのでその際はご協力願いたいです。（倉島代表）

9. 会計報告

◆ ファッションフェアの予算書をあげてください。(金澤チーフ)

10. 総評(飯吉氏)

本当に皆さん活発に色々と議論していただき、非常に充実した会ではないかと思います。僕も大変勉強いたしました。先ほど色々とお話させていただきましたので、それでご勘弁いただければと思います。ありがとうございました。(飯吉氏)

◎次回以降開催予定日

2 月 26 日(火) 第 4 回執行会議 テクノプラザ 団体連絡室

2013 年 新春賀詞交歓会

日　時:平成 25 年 1 月 11 日(金)
場　所:テクノプラザかつしか 大ホール
【第1部講演会】18:00～19:00
司　会:池谷伸夫
出席者:吉村勝博、河村光治、千葉英樹、長保行、二ノ宮康弘、原山静男、入山央、宮澤邦幸、三浦誠吉、石原祐治、飯吉修一呂、力丸保二、池谷伸夫、金澤建治、浅野文明、黒﨑正典、佐川安寿、鈴木光江、小堀泰克、湯本晃透、倉島進、高嶋廣幸、中村博司、村上伶、高橋満、佐々木啓子(第一部講師) 以上 26 名
欠席者:石川薫、黒澤修史、梅田信利、芦澤唯志、井上貴博、高田照和、重永裕祥、小田朋和、阿南信枝、服部和子、元井良郎、宮本武夫、工藤郁雄、中村憲昭、石井孝昌、鈴木益雄、猪瀬昇一、山本博子、菅谷俊紀、高野山文夫、松村正裕、朝倉みどり、金子高一郎、阿部美次郎、大木勝邦 以上 25 名
(敬称略／順不同)
2013 年 1 月 11 日現在 会員数 51 名
オブザーバ:福穣二氏、布井祥子氏 以上 2 名
講　師:葛飾エフエム放送㈱ 取締役副社長兼放送局長 佐々木啓子氏
講演テーマ:「コミュニケーション術・会話の大切さ---顧客を逃がしていませんか」
【第2部懇親会】19:10～20:30
来　賓:葛飾区長 青木克徳様、葛飾区議会議長 梅沢五十六様、東京都立葛飾総合高等学校校長 三田清一様、東京商工会議所葛飾支部事務局長 柳本満生様、葛飾区産業経済担当部長 赤木登様、葛飾区地域振興部商工振興課長 加納清幸様、公益財団法人東京都中小企業振興公社 山崎幸一様、東京理科大学科学技術交流ｾﾝﾀｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 津幡良平様、東京商工会議所葛飾支部 鈴木康修様
出席者:吉村勝博、千葉英樹、長保行、二ノ宮康弘、原山静男、入山央、宮澤邦幸、三浦誠吉、石原祐治、飯吉修一呂、力丸保二、池谷伸夫、金澤建治、浅野文明、黒﨑正典、佐川安寿、鈴木光江、小堀泰克、湯本晃透(会費 2 名分)、倉島進、高嶋廣幸、中村博司、村上伶、高橋満、佐々木啓子(第一部講師) 以上 25 名
欠席者:石川薫、河村光治、黒澤修史、梅田信利、芦澤唯志、井上貴博、高田照和、重永裕祥、小田朋和、阿南信枝、服部和子、元井良郎、宮本武夫、工藤郁雄、中村憲昭、石井孝昌(会費 5,500 円支払)、鈴木益雄、猪瀬昇一、山本博子、菅谷俊紀、高野山文夫、松村正裕、朝倉みどり、金子高一郎、阿部美次郎、大木勝邦 以上 26 名
(敬称略／順不同)
オブザーバー:福穣二氏布井祥子氏 以上 2 名
司　会:池谷伸夫　**挨　拶:**黒﨑正典会長
乾杯挨拶:中村博司　**中締め:**石原祐治
来賓挨拶:葛飾区長 青木克徳様、葛飾区議会議長 梅沢五十六様

第 64 回分科会かつしかコレクション定例会議事録

日　時:平成 25 年 1 月 21 日(月) 18:30～21:00
場　所:テクノプラザかつしか 団体連絡室
出席者:宮澤、石原、阿南、三浦 以上 4 名
欠席者:高田、小田、重永、服部 以上 4 名
司　会:宮澤　**書　記:**三浦

1. 事務局連絡事項について

交流会の組織変更が予定されている。

2. かつコレ主催によるHP開設状況(楽太郎利用企業)について

今後増やしていく活動をしたい。

3. かつコレHPについて

かつコレHP案を作成中である。
アップする商品を募集しているが、金子さんはペット砂時計等オリジナルの時計をかつコレで販売を希望。
また、その他の製品の紹介についても募集する。
企業紹介HPでは、現在ミヤザワ一茶園を紹介している。
今後交流会でHPをも持たない企業へ声がけしていく。
金子砂時計の写真が集まったので更新していく。

4. その他

交流会の組織変更があってもかつコレが続くように検討していく。

◎ 次回開催予定

平成 25 年 2 月 18 日(月) 18:30～ テクノ 3F

第 7 回 OSC 開発分科会定例会議事録

日　時:平成 25 年 1 月 30 日(水) 18:30～21:00
場　所:テクノプラザかつしか 3F 団体連絡室
出席者:宮澤、石原、黒崎、三浦 以上 4 名
欠席者:高野山 以上1名
司　会:宮澤　**書　記:**三浦

1. 事務局連絡事項について

2. 開発要領について

時間と経費を有効活用するよう無駄のない設計製造に心がけることを確認した。

3. 報告書について

関係する方々への年度の報告を作成する必要がある。3月末であるので2月末を目標に必要な資料をまとめていくことにする。報告の際、知的財産の保護について確認しておかなければならない。現在、検討中の案は、特許申請していないため公の報告書として第三者に公開するのであれば報告内容を吟味しておく必要がある。

4. 今後の開発について

高野山氏の改善案が提案されているが、改善案の概要とその効果について会員に説明して欲しい。今回は都合により欠席であるので次回の会合で説明を求めたい。また、宮澤、三浦案の提案があるが図面化及び効果について明にしていく必要がある。

5. 行政とのつながりについて

福祉課にたいして、疎遠になっている。現状を説明していくようにしたい。

◎ 次回開催予定

平成 25 年 2 月 12 日(月) 16:00～ テクノプラザ

1 月定例会休会の分科会

◇ IT 分科会

◇ エコ・ライフ研究分科会

◇ 情報交換分科会

◇ 寅さん分科会

1 月定例会休会の分科会

◇ K&T 分科会

発行:かつしか異業種交流会総務広報委員会　会員事務局
編集:(IT 分科会)　飯吉修一呂
監修:総務広報委員会

【分科会定例会開催日】
IT(第 2 水)、ｴｺ・ﾗｲﾌ研究(第 2 火)、OSC 開発(第 2 月)、情報交換(第 1 火)、K&T(第 1 水)、寅さん(第 3 水)、かつしかｺﾚｸｼｮﾝ(第 3 月)

[問合先]『かつしか異業種交流会』
◇対外事務局　葛飾区商工振興課　03-3838-5587
◇会員事務局　総務広報委員会
E-mail:miyamoto@orange.ifnet.or.jp

交流会HPからも可能です。
http://www.katsushika-igyoushu.com/